

2018 年度事業計画

1. 事業計画の基本方針

☆ NPOの自立性を高めます ●支援金事業、スキルアップ講座、活動支援講座、相談等

多様な資金調達の方法を探りながら地域やNPOへの寄附啓発の機運を高めます。また、「みのお市民活動支援金制度」の活用を通して、NPOの自立的事業実施の支援を行います。

今年度は、若者支援のコースを新設し、新たな活動の促進を図ります。

☆ セクター間の連携を推進します ●多様な活動の交流促進事業 等

これまでの実績を踏まえつつ、地域や近隣の大学、企業・店舗との連携を深め、NPOとのコラボレーションを促進します。

☆ NPOの担い手を増やします ●NPOの情報発信、ボランティア受け入れ 等

今後の市民活動の発展のため、これからの社会を担う若い世代の関心をNPOに引き寄せたり、セカンドステージを迎える定年退職者へ市民活動の紹介をしたりすることを通じて、NPOのファンや担い手となる人材を増やします。

※以上、3つの事業促進のための組織強化を図ります

私たちのミッションに共感し、応援する会員の拡大を図るため、会員としての事業提案や会員意識を盛り上げる仕組みづくりを行います。

2. 各事業について ※事業名に下線が引いてあるものは、みのお市民活動センター指定管理事業

(1) 市民活動を行う個人及び団体の運営・活動に関する連絡、相談、啓発、支援

ア 市民活動の啓発

従来あまり市民活動センター(以下、センター)に接点のなかった市民に向けても NPO 活動の意義とそれを応援するセンターの存在とをアピールするため、幅広い層の方々が集いやすいイベントを開催する。同時に、同じ箕面市内で活動する多様な NPO が1つのイベントの成功に向け取り組むことで、それら団体の交流・ネットワークづくりにも資することも狙う。

A みのお NPO フェスタ

【日程】 10月28日(日)(予定)

【会場】 センター館内・玄関前、かやのさんぺい橋

【内容等】 ・市内 NPO によるブース出展(合計約 30 ブースを想定)

・センター玄関前特設ステージ(音楽やダンス等、広く集客するための出しもの、NPO が活動をアピールするための出演など)

・集客・回遊企画(スタンプラリー等、集客・回遊を促す企画)

B 出展団体活動紹介パネル展

【時期】 10月12日(金)～26日(金)(予定) 【会場】 センターフレキシブルコーナー

【内容等】 ・フェスタ出展団体による活動紹介パネル展

C かやのさんぺい橋パネル展

【時期】 10月(詳細は調整) 【会場】 かやのさんぺい橋

【内容等】 ・NPO(1団体程度)による、橋壁面を利用したパネル展示

D 施設利用持込企画

【時期】 10月12日(金)～26日(金)(詳細は調整) 【会場】 センター会議用施設

【内容等】 ・センター会議用施設で市民向けの講座やワークショップ等を企画し運営するNPOを募集

E 出展団体交流会

【時期】 10月28日(日)イベント終了後 【会場】 センター会議用施設

【内容等】 フェスタ出展関係者等による交流会

イ 講座の開催

市民活動(事業)の企画・実施、団体の運営などに役立つスキルアップ講座や活動の立ち上げや参加につながる社会課題啓発の講座等を実施する。

【内容等】 ・市民活動スキルアップ講座、社会課題深堀講座など、年6回

ウ 夢の実支援金

A 募集・交付

「夢の実支援金」(みのお市民活動支援金)の募集、申請受付、審査実施、報告書の受理・確認など一連の事務を行う。また本年度は、従来のコースに加えて「学生・若者応援！コース」を試行実施し、新しい層の市民活動への参加を促す。

(a) 募集説明会

【日程】 4月26日(木)

【会場】 センター会議室

(b) 公開プレゼンテーション・審査

【日程】 6月30日(土)

【会場】 センターフレキシブルコーナー及び会議室

B 専門家コンサルティング

交付団体を対象とした専門家コンサルティングも実施し、申請事業の一層の発展を促す。

C 実施成果報告会

「立ち上げ応援！コース」と「発展応援！コース」「学生・若者応援！コース」の交付事業について、各実施団体がその成果を報告するプレゼンテーションを行う。事業成果の確認とともに交付団体同士の連携のきっかけになることも狙う。

【日程】 2019年4月20日(土)(予定) 【会場】 センターフレキシブルコーナー

D 夢の実応援チャリティ

支援金の公開プレゼンテーションや成果報告会で、参加された会場の皆さんに寄付を促す。
公開プレゼンテーションを聞いて、「応援したい！」と思う団体に対して、その場で寄付やメッセージなど、支援の思いを届ける仕組み。

エ かやの中央まち育て連携事業

A まんどうろ火祭り

かやの中央の賑わい創出を目的に、開設当時から地域住民や企業、NPO、行政が一体となり、お盆の時期に子どもから大人までがたいまつ行列を行う伝統行事「まんどうろ火祭り」を開催。活動の中心となる「かやの中央まち育て交流会」のメンバーとして、月1回の定例会やまち育てのイベントに関わっている。

(a) まんどうろ火祭り開催

【日程】8月4日(土) 【会場】みのおキューズモールふれあいパーク及び千里川河川敷

(b) まんどうろ火祭りパネル展

かやの中央周辺の旧村で復活している「まんどうろ」の祭りを、イベント開催日前の数日間に渡ってパネルで紹介する。

オ 相談

A 専門家相談

NPO法人会計基準について、専門家を招いた相談会を実施する。また参加へのハードルを下げるため、相談会に先立ち同会計基準の概要についての勉強会も開催する。

B 一般相談

指定管理者スタッフが、窓口等で随時受け付ける相談。相談を効果的に中間支援につなげるため、年1回程度、スーパーバイザーを招いてケースの振り返りを行う。

カ 連絡(交流の促進)

A 利用者協議会 年1回

みのお市民活動センター会議用施設利用料減免団体を中心に声かけを行い、広く施設利用者全般を対象とした団体間の交流の場として実施する。なおこの場では、箕面市が公共施設全般を対象として取り組んでいる外部評価の過程の一部としての「利用者等による意見交換会」も同時に実施する。

B 分野別交流会(子育て等) 年数回程度

分野別の交流会としての交流を進め、団体の現状や共通な課題をテーマに開催する。

C 大学連携交流促進事業

大阪大学外国語学部による公開プレゼンテーションの場の提供や広報など、連携して行う。

D サポーター交流会

サポーター同士やスタッフとの交流を図ることを目的に実施する。

E 企業等との連携事業

昨年度に続き、大阪ガス(株)近畿圏北部地域共創チームの社会貢献活動と連携し、子育て支援の視点で防災意識を育てる事業を、地域やNPOと共に展開する。

(2) 人材育成

ア 地域との連携

A ボランティアの受け入れ等

学校のボランティア演習や職業体験、市職員向け人権セミナーでのNPOの啓発など、センターや関連団体が受け入れのフィールドになったり活動紹介をしたりすることで、地域との連携を深める。

B 大和ハウス工業(株)のボランティア情報提供

企業の地域社会貢献の一環として、イベントを中心にボランティアメニューの提供を行う。

イ NPO 広報サポーター-promo

次世代の社会貢献意識を高めることを目的に、NPOで活躍する人物へのインタビューやボランティア体験を記事にして発信する。

ウ 講師派遣事業

A 高校啓発事業(通年)

箕面東高校の「社会福祉入門」授業で、高校生にさまざまな分野のNPOを紹介、啓発する。

B その他講師派遣

(3) 情報収集・提供

ア インターネットによる情報発信

A ホームページの運営

これまでの「ポータルサイト研究会」(2015年度～2017年度調査研究事業)での検討結果をふまえ、「市民活動センターからのお知らせ」よりも「箕面の市民活動の情報・魅力が伝えられる」ことを主眼とするホームページのリニューアルを行う。

B v-info

ウェブサイトで、箕面近隣(箕面、吹田、豊中、茨木など)のボランティア情報を案内。箕面市社会福祉協議会ボランティアセンターと連携し、毎月1日にボランティア募集情報を更新・発信する。

C メールニュース(隔週)

会員や行政に向けて配信(約 80 件)。フォーラムみのおが関係する事業や団体会員の事業を紹介する。また、市民活動フォーラムみのおの人材バンクに登録されているサポーターに対して、「かわら版」にボランティアの募集を付加した「サポーターニュース」を配信する。

イ 専門的情報の収集

他の中間支援組織との情報交換、各種講座、交流会への参加、先進地域への視察などによる、中間支援に関わる専門的情報の収集をする。

ウ ニュースレターの発行(『kirari』)

現在特に市民活動に関わっていない方にも活動の興味を持ってもらえるよう、箕面で市民活動・公益活動に携わる「人」の事例を中心に発信する。前年度の全面リニューアルの結果多くの方々に手にとっていただくようになったため、本年度は発行部数を増刷(各 1,000 部→1,200 部)する。

配布先:各公共施設等 体裁等:A4 版4頁フルカラー
発行回数:2回 発行部数:1,200 部

エ 団体情報の収集及び提供(グループガイド)

団体情報の冊子(『みのお市民活動グループガイド』)は発行しない年度にあたるため、前年度発行情報の変更確認と Web 掲載情報の更新等を行う。

(4) 調査研究・政策提言

ア 市民活動具体事例の収集

箕面市内におけるすぐれた市民活動の取り組みを調査し、記録に残す。

(5) 社会的環境の整備

ア 団体との連携

A かやのお宝人権まつり実行委員会への参画

らいとびあ21と連携して実行委員会に参画する。

B みのお市民人権フォーラム実行委員会への参画

みのお市民人権フォーラム実行委員会に参画する。

イ ネットワーク構築

A もっとネット会議 (年 4 回程度)

市内5団体との連携で、年4回程度の事務局レベルの情報を中心とした交流を行なう。

【構成団体】(社福)箕面市社会福祉協議会ボランティアセンター・NPO 法人みのお山麓保全委員会

(公財)箕面市国際交流協会・(公財)箕面市メイプル文化財団・タッキー816 みのおエフエム

※主幹:(特活)市民活動フォーラムみのお

B KNN への参加

関西 NPO 支援センターネットワーク(KNN)に参加し、他市支援センタースタッフ等と交流し、連携、情報交換を行なう。

C 北摂 NPO 支援センター交流会

北摂地区中間支援組織のスタッフを対象に情報交換や勉強会など、それぞれの拠点を輪番制で訪問しながら交流会を開催する。

(6) 市民活動センター管理運営

ア みのお市民活動センター施設管理

センターの施設及び付属設備備品提供に関する業務。一般相談業務。住民票、印鑑証明書等の一部証明書発行業務。市民活動団体の場の提供と情報提供。

センター開設利用時間 9:00~22:00

休館日 臨時休館日、年末年始(12月29日~翌年1月3日)

イ 施設を活用した市民サービス

A 証明書発行業務

市の証明発行拠点として、証明書類の一部の発行受付・交付を行なう

発行受付: 年末年始(12/29~1/3)および月曜日を除く 10:00~17:00

ウ 来館啓発及び表現活動の場の提供

A ほっとコンサート

センターの周知とにぎわいづくり、市民グループの発表と交流の場の提供、サポーターの活躍の場を目的に、年3回程度開催する。

B 箕面在住アーティスト展

センターの周知とにぎわいづくり、箕面市に在住するアーティストの発掘と紹介を目的に、随時開催する。

C アートの広場

センターの周知とにぎわいづくり、箕面市に在住するアーティストの発掘と紹介を目的に、廊下の壁面のスペースを利用した作品の展示を、随時開催する。

エ DIY 体験ワークショップ

市民が集う場を一緒に作る工程を共有することでセンターへの愛着が生まれ、新たな市民活動の人材の導入を図る。

(7) その他の事業

ア 中間支援組織の研修

NPO支援センタースタッフのスキルアップを向上させるため、研修や勉強会に参加する。

イ 災害復興支援活動

A 東日本大震災復興支援「3.11を忘れない」イベントの開催

4年前から、復興支援に直接携わる箕面ユネスコ協会の協力で、現地の状況や報告会、被災地の物産展を開催。

アサンプション国際中学校高等学校、小学校とは、震災直後から募金活動やチャリティコンサートの協力をいただいている。

B 熊本支援ネットワーク

震災直後から、箕面市の関連団体と連携して、被災地支援のための物産販売の協力をしている。被災地のNPOと連携して箕面市内のイベント等に出展参加を通して、熊本の復興の状況や報告等を広報協力している。

C 手をつなごう!チャリティコンサート

東日本大震災の復興支援のため、震災直後から、以前に「ほっとコンサート」に出演していただいたRMOの仲間が集まり実行委員会形式で開催。フォーラムみのおは共催の立場でチャリティコンサートに協力している。3.11復興支援イベントのパネル展(会場:みのお市民活動センター)にも参加予定。

ウ 会員提案共催事業

市民活動フォーラムみのおの団体会員、個人会員からの企画提案を受けて、事業化し開催する。単独では難しい事業も、協働することで実現できることを通して、会員としてのメリットを図る。

以上